



始



# 銃後の護り



北海道拓殖銀行  
頭取 岡田 信述



持253  
11



昭和十三年七月

「臥薪嘗膽の決心で勸儉貯蓄を勵行する」之が今日我國民の覺悟であらねばなりません。併し此の覺悟を如實に實行し、事變が何年續いても倦まずに之を續行する爲には能く此の非常時の非常時たる所以を認識せねばなりません。本書は今般銀行職員が貯蓄を申合せましたに付挨拶代りに若い職員を目途に聊か右趣旨の一端を筆にしましたものであります。既に充分御承知の事柄でありますが一部份右に捧呈致します。寔に冗漫不備で恐縮に存じますが御寸暇の折御判讀を賜らば仕合に存じます。

北海道拓殖銀行内

岡田信





我國に支拂ふ丈けの金があるか……………二七

爲替相場は絶対に維持しなければならぬ……………二八

輸入制限の必要……………三一

**第四 物資の消費節約……………三三**

物價は騰貴した……………三四

極力物價の騰貴を防がなければならぬ……………三五

一般的消費節約でなければならぬ……………三六

政府の所謂撰擇的消費節約……………三六

消費節約の結果不景氣となるか……………三五

**第五 國民貯蓄の必要……………三七**

閣議 申 合……………三七

閣議申合の趣旨……………三九

何故國債を持たねばならぬか……………四七

貯蓄は國の爲……………四九

北海道の貯蓄總額の目標……………五一

貯蓄實行方策……………五三

**第六 物 價 對 策……………五六**

物資需給の不均衡……………五六

物價對策の目標……………五八

**第七 結 言……………六四**

第一章	前	一
第二章	時に差しかかつた	二
第三章	帝國が膺懲の師を進めて以來一ケ年、此の間、陸に海に空に赫々の威武を揮ひ、國內の	三
第四章	一に 御稜威の然らしむる所であつて唯々恐懼感激の至に堪へません。同時に我忠實勇武	四
第五章	なる將兵の決死的奮闘と銃後國民の不撓不屈の愛國的熱誠に對し何人も感謝措く能はざる	五
第六章	ことと存じます。	六
第七章	併しながら戦は之からであります。今や長期戦の態勢を執り之が爲に要する物資、資金	七
第八章	も極めて多量多額に上り、其の國民經濟に及ぼす重壓は愈々加はり、國民が此の試練に耐	八
第九章	へ得るや否やの時差しかかつたのであります。此時は容易ならぬ時であります。只に險	九
第十章	阻な許りてなく生死の岐るる時であります。之を登り切つたならば眞に日本は世界一の富	十
第十一章	強國となるが、不幸登りそこなへば千仞の奈落に轉落する外はないのであります。將兵各	十一

## 第一 前 言

時に差しかかつた

帝國が膺懲の師を進めて以來一ケ年、此の間、陸に海に空に赫々の威武を揮ひ、國內の  
 一に 御稜威の然らしむる所であつて唯々恐懼感激の至に堪へません。同時に我忠實勇武  
 なる將兵の決死的奮闘と銃後國民の不撓不屈の愛國的熱誠に對し何人も感謝措く能はざる  
 ことと存じます。

併しながら戦は之からであります。今や長期戦の態勢を執り之が爲に要する物資、資金  
 も極めて多量多額に上り、其の國民經濟に及ぼす重壓は愈々加はり、國民が此の試練に耐  
 へ得るや否やの時差しかかつたのであります。此時は容易ならぬ時であります。只に險  
 阻な許りてなく生死の岐るる時であります。之を登り切つたならば眞に日本は世界一の富  
 強國となるが、不幸登りそこなへば千仞の奈落に轉落する外はないのであります。將兵各

位が生還を期せずして武力戦に邁進せらるると同様の心持で、銃後の國民全員が鉢巻と襷がけて背水の陣を布いて經濟上の熱戦に突進しなければ越すことは出来ない一大難所にぶつ突かつて來たのであります。

#### 物資戦であります

近代戦は科學の進歩した爲、戦争の形態が甚しく複雑且大規模のものとなりました。殊に大砲、機關銃や戦車、航空兵器等の發達に伴ひ、之等に要する軍需資材は多種多様且多量になり、全く物資の戦争と云つて間違ないのであります。従て戦争に必要な物資が、確實に而も潤澤に得られるかどうかと云ふことが勝敗の數を決するに大なる關係があるのであります。

今日迄の経過を觀ても、武力戦は我々の思つた通り連戦連勝で進んで居る。支那側も今日では武力では勝つとは思つて居ますまい。唯此期になつても蔣介石等が力んで居るのは、彼等は第一線の戦闘よりも日本背後の臺所を狙つて居るからであります。武力戦には負けても、之を永引かすことに依つて經濟戦に勝つ、彈丸でさへるることの出来なかつ

た日本軍を物資で凹ませよう、日本の財界は遠からず混亂し、物資不足の爲日本軍は敗退すると思つて居るに違ひありません。此の銃後の日本の態勢が亂れかけたら、日本軍は頑張り切れないのみならず、我利々々亡者の一部列強は直に日本を強壓するものと觀て、之を當にして居ることと思ひます。

實に今後の重點は經濟戦、物資戦であります。勝敗の岐るる所は銃後の經濟力の如何にあります。此の點から觀て我國は即戦即決を有利としますが、同時に長期戦に對應する各般の用意が絶對的に必要であります。申す迄もなく戦争に油断は禁物であります。そう易々と勝てるものではない、此間將兵の御勞苦は絶大のものと思ひますが、現場の戦争に絶對信頼し得ても、此の銃後の經濟戦には安心出來ませうか。

#### 物資戦の對策は何か

目下の我國の狀態は凡てに亘つて正に戦時態勢に在ります。而して政府は此の國難に對處するに、軍需資材の確保と國民生活の安定とを施政の目標として、全力を擧げて施設經營して居られるのは御承知の通りであります。戦争に直接間接必要な武器彈藥其他の資

材が不十分になつては戦争をする譯には参りません。併し又、如何に軍需資材が豊富であつても、之を供給する國民の生活が不安定になつては戦争は續けられませんが。此の兩者は離れることの出来ないものであります。般鑑遠からず、かの歐洲大戰に於きまして獨逸は武力戦には優れて居りましたが、かの歐洲大戰に於きまして獨逸は物資の窮乏に伴ふ物價の暴騰即ち通貨の價の惨落を來した爲國民生活が全く混亂に陥り、忌むべき思想も瀰漫したる結果遂に敗退したのを見ても判ります。

軍需品の完全なる供給と國民生活安定の二大目的を達するには

- 一 物資の生産を増加すること
- 二 物資の消費を節約すること
- 三 貯蓄を勵行すること
- 四 右に依て外國から出来る丈け物資を買はぬ様（即ち輸入の減少）努むると共に、外國に出来る丈け物資を賣ること（即ち輸出の促進）に努め爲替相場を維持すること

五 政府が軍需品調達の爲借金をする場合（即ち國債の發行）には之に協力する（即ち國債の買入）こと

六 事業者等が軍需品や生活必需品の生産に資金を要する場合には之を供給すること（即ち資金の貸付、社債又は株式の應募引受）

が必要且急務であります。之等が完全に遂行し得られたならば戦勝は勿論我國程強い國はないことになりませう。我が八紘一宇の建國精神も之に依て發揮し得るのであります。而して之等の諸項が完全に運行し得られるならば物價騰貴は起りませう、と同時に物價が騰貴しなければ、それ等が完全に運行して居るものと診斷して大過はありません。此の際物價騰貴は人體の熱の様なもので、熱があつては働けないと同様、物價を騰貴させては右各項の運行が止まります。又結果から見て、身體に熱がなければ一應健康と思はれる様に、物價が安定を保つて居れば國土安穩、戦争萬歳と考へて差支ないのであります。一言すれば、物價の騰貴を防止すると云ふことが今日の最大急務であると思ひます。



## 第二 生産の擴充

六

### 國內の生産では大いに不足す

必要物資は日本國（日本内地、朝鮮、臺灣、樺太、南洋諸島の各外地）と滿洲國を合せた帝國經濟の領域内で自給出来るかと云ふに、之等我國領域は多數の外國に比して割合に資源は豊富であると思ひます。將來モット科學が進歩したならば生産の點ではさして悲觀するには及ばない、曲りなりにも國防經濟を確立することが出来るかと思はれます。併し之は日滿一體の經濟體制が完成した將來のこととて、今の急場の間には合ひません。今日の資源の程度なり工業力の状態からすれば、どうしても自給など思ひも寄りません、從て軍需資材は外國から輸入する外はありません。

然らば如何なる物資が輸入しなければならぬものか、政府は從來國民の物の消費節約の對象物として、特定の物資即ち（一）軍需資材（二）輸入品及び（三）輸入品を原料とする國內製品を擧げ、之等の物の消費の節約（政府の所謂選擇的消費節約）を國民に要望せられた

のでありますが、其の物資は棉花、羊毛、鐵、白金、銅、眞鍮、鉛、亞鉛、錫、ニッケル、アンチモン、石炭、石油、ゴム、木材、紙、皮革及麻であります。

### 生産増加に對する政府の施設

之等の物資を出来るだけ自給して、外國から輸入することを防ぐ爲には直接之等を生産する事業を盛に興すと共に、之等物資に代用し得べき品物の製造工業を興さなければなりません。事變以來官民一致して此の方面にも努力して居られるのでありますが、之等の爲直接間接に關係を持つ政府の立法の重なるものを列擧して見ますと左の如くであります。

#### 一 臨時資金調整法

本法は表面は事變の爲に要する資金を調整する法律であります。其の裏は即ち必要物資の供給を確保する趣旨に外ならないもので、資金が有り餘つて居らない今日、必要なる事業資金の供給を増大する爲、不急不要なる方面に對する事業資金の制限を目的としたる調整を行ふは已むを得ぬこととあります。而して之が手段としては

イ 事業資金の調整に就ては金融機關の社債の引受、資金の貸付並會社の新設、増

七

資、自己資金に依る工場等の新設、擴張、改良等を政府の許可又は認可事項としてあります。尤も金融機關の貸付又は社債の引受に付ては、其の自治的調整に任せ政府の許可や認可を要せぬことになつて居ります。且又本法は設備資金を取締つて居るもので、運轉資金は従前通り自由になつて居りまして何等の制限はありません。當行も此の御趣旨に則つて折角勉強して居ります次第でありまして、各金融機關の協力其の宜しきを得今日迄順調に經過して居ります。

ロ 事業資金の供給資源を増大する爲、日本興業銀行の發行する興業債券の發行限度を倍額に増加し其上政府の金資金特別會計に屬する資金を興業債券に運用するの途を拓いたり、又同じく時局關係會社の資金調達を容易ならしむる爲商法の束縛を緩めて株金全額の拂込がなくとも増資をしたり、又株金拂込額の二倍迄社債を發行し得る様に便利を圖り

ハ 國民の貯蓄を獎勵する爲日本勸業銀行に對し割増金附貯蓄債券を發行せしめ其の収入金を政府に收めて併せて政府の軍費支辨に便せしめ

以上で居られます。

## 二 輸出入品等に關する臨時措置に關する法律

此法律も亦必要なる方面に物資の供給を充分ならしむることを目的として制定せられたるもので、前記臨時資金調整法と一體を爲すものであります。而して其の主なる内容は、必要なる物資を充足する爲其の海外輸出を制限し、又比較的不急不要なる物資等の輸入を抑制することであつて、之等制限を受くべき輸出入品目は命令で決められて居ります。次に此の輸入の制限等に伴つて需要供給に不均衡を來したり、物價が暴騰したりして困る場合には適當の調整を行ふことになつて居ります。之が爲には既に毛絲、毛織物又は棉製品にステールファイバー、絹又は人絹を混用せしめ、又鐵骨造り、鐵筋コンクリート等の工作物の築造を制限し、或は銅、白金の使用を制限したりして居られます。

右二法律は表裏一體を爲すものでありまして、政府の時局經濟對策の根幹を爲すものであります。獨り生産増加に對するのみならず、軍需資材の確保と國民生活安定上廣汎なる

活動の機能を有して居ります。今後時局の進展に伴れ此の二法律は益々活潑に發動される  
てありませう。

- 三 重要礦物増産法
  - 四 日本産金振興株式會社法
  - 五 工作機械製造事業法
  - 六 航空機製造事業法
  - 七 石油資源開發法
  - 八 硫酸アンモニヤ増産及配給統制法
  - 九 電力管理法、日本發送電株式會社法外二法律
  - 一〇 北支那開發株式會社法
  - 一一 中支那振興株式會社法
- 之等の諸法律については一々説明を省きますが、生産増加に對する主なる施設丈けても  
以上の如く盛澤山であります。此の點に關し如何に政府が骨折つて居られるかが判りま

す。と同時に之等がそれ〴〵實行に移る場合巨額の資金が入用となることも想像に餘りあ  
ります。茲には列記してありませんが滿洲國の開發資金と(九)と(一〇)の支那開發資金丈けても  
此所數年間に少くとも三十億圓は要りませう。之は事變後も益々必要でありませう。此點  
から觀ても國民貯蓄力の増大從て金融機關の資力擴大の最も必要なることが痛感されるの  
であります。全國民は以上政府の趣旨を篤と體し、働かぬことを耻と考へ、時間と勞力と  
を一層有効に使つて、一齊に國難に殉ずるの決意がなければなりません。

### 第三 爲替相場の維持

#### 輸入超過は已むを得ない

かくの如く、政府も國民も一生懸命に必要な物資の生産増加や消費の節約、又は代用品の  
使用を努めても到底間に合ひませんので、少からず外國より物資を輸入しなければならな  
いのであります。例へば前掲消費節約を要すべき物資丈けに就て輸入金額の概數を列記し  
て見ますと、昭和十一年に於て左の如く巨額に上つて居ります。

種類	輸入金額
棉花	八億五千萬圓
羊毛	二億一千萬圓
鐵、鐵	二億四千萬圓
白鐵	三百萬圓
銅、銅	四千萬圓
鉛	二千七百萬圓
錫	一千六百萬圓
亞鉛	一千五百萬圓
ニッケル	八百五十萬圓
アンチモニ	二百五十萬圓
石油	五千一百萬圓
石炭	一億八千三百萬圓
ゴム	七千三百萬圓
木材	五千五百五十萬圓
紙類	一千五百萬圓
皮革	三千萬圓

麻計 三千七百萬圓  
十八億五千六百五十萬圓

然らば之等の物資が我國で使用する分量の何割に當つて居るかと云ふに、一々其割合を明示することは略しますが、棉花、羊毛、ニッケル、水銀、ゴム、アンチモニー等は殆ど全部輸入するより外ありません。鐵、鉛、亞鉛、錫、石油、皮革、麻等は五割以上八割迄は輸入して居ります。此の大勢を我々國民は確り頭に入れて置く必要があります。

御承知の通り、我國は歐洲大戰當時の如き例外の場合を除いては、毎年殆ど輸入が輸出よりも多いのでありまして、受取勘定よりも支拂勘定が少かつたと云ふ年は稀なのであります。そこへ此の事變て軍需資材を相當多量に外國から買はなければなりませんので、一昨年も巨額の入超てありました。昨昭和十二年も貿易關係で六億三千萬圓、貿易外（外債利子、船賃、保険料、大公使館費等）で二億二千萬圓、計八億五千萬圓を外國に支拂ふことになりました。政府が外國爲替管理法に依つて爲替を管理して、外國から物を輸入する場合成るべく支拂を減らす爲喧ましく監督したり、又例へば外國に旅行すること迄も取締

つたり、種々工面しても尙此の通りの代金支拂を要することとなつたのであります。

### 輸入代金はどうして拂ふか

輸入の増加は輸入品が無駄なものでない限り、国力發展の基となるのでありますから結構なこととあります。昨今の軍需資材は多くは單に消費して仕舞ふ様なものであります。國が生きるか死ぬかの境目の材料でありますから絶対的入用の尊い品であります、萬難を排して輸入しなければなりません。

所て我國の現状の如く、輸入の方が多いと云ふことはそれだけ外國に代金を支拂はねばならぬと云ふこととあります。此の場合我國に支拂ふ力が充分あるなれば入超しても何の支障もありません。個人の經濟でも、富裕な家庭に支拂が多くなつても困ることもなければ其の信用も薄くならないと同様で、國に力があるならば一向差支ないことで、其の國の信用が墜ちることはないのであります。換言すれば、爲替の下落は起つて來ないのであります。所が不幸にして我國は樂に代金を支拂ふだけの力がありません。

然らば日本の支拂能力は如何と云ふに、凡そ貿易尻の決済をするには

#### 一 輸出の擴張

#### 二 貿易外受取勘定の増加

#### 三 外國よりの借入

#### 四 金の現送

の何れかに依るの外はありません。

### 輸出は却て減りました

輸出を維持し、進んで之を擴張することは絶対に必要で、上下協力一致努力して居られますけれども遺憾ながら却て減少の趨勢にあります。本年の輸出減退の大部分は米國向輸出の不振に在ります。蓋し近年世界各國は關稅を高くして外國品を成るべく買はぬ様にして居りますから、以前の如く價が安いからと思ふ様に賣る譯には参りません。或は又自國品を買つて貰つた額丈けより外國品を買はぬことにして居りますから、事變後我國は輸入制限に依り外國品の買入を減らした丈け外國も日本品を買はなくなつたのであります。殊に又事變以來我國の物價は二割近くも上りました。反對にアメリカの如きは不景氣の爲

二割近く物價が下落しました。併せて事變前に比べてアメリカの物價と日本の物價は四割近くの開きが出来ました。其の上我國では物價に影響のある各種運賃も上りました。そこへ持つて来て之等米國、英國、佛國等は對日感情が不良でポイコットをして日本品を買はぬ様意地惡をして居ります。

我國は又、輸入制限の爲輸出品の原料となるべき物品も、以前の如く思ふ様に調達は出来ませんから輸出品の製造にも不便があります。此の點は今後は不便のない様政府も施設せられることでありませうが、之等の諸原因で既往輸出額の維持すら出来なかつたのであります。(尤も輸入も半減しました) それに第七十二回帝國議會の協賛を経て臨時船舶管理法が制定せられ、軍事徵發に依る船舶の不足に對處する爲、船舶の管理が行はれ、之等貿易品の外國への運搬も思ふ様には参りません。従て又貿易外の受取勘定中の大きな部分を占める外國への船の貸賃の収入も減りました。其の他の貿易外の受取勘定も亦著しく減りました。

かくの如くして (一)輸出貿易に依て得たる代金と (二)貿易外の受取金と合せても到底輸

入代金を支拂ふ額には達しないのであります。そこで此の支拂ふことの出来ぬ代金丈け(三)外國から借金して返済することが出来れば急場は凌げます。戦争のときは何れの國も軍需資材等の輸入が増加しますから此の外國借款に依て一時賄ふのであります。かの歐洲大戰當時、歐洲各國は米國から巨額の借金をして戦費を賄ひました。我國も日清、日露兩役には外債を起しましたが、今度計りは之も到底出来ない國際情勢でありますから外國からの借金は大體に於てあきらめるより外ありません。すると残された返済方法は第四の金を現送すると云ふことに歸着します。

我國に支拂ふ丈けの金があるか

國と國との貸借の決済は最後には金で致しますが、米國の如く世界の金の六割も持つて居る國柄ならば一向平氣でありますけれども、金から見た我國の懐具合は御承知の通り頗る貧弱であります。日本銀行には其の發行する兌換銀行券(日常使用するお札)の引換準備として八億圓の價の金がありますが、之は容易に使ふ譯には参りません。次に金資金特別會計が所有する金及外國に在る官民の有する外國債券、預け金、賣掛代金等の債權、及

在外正貨（此の額を明示することは遠慮します）と、毎年掘り出す金とで支拂つて居りますが、前者は大分手薄になりました。此上あまり當にすることは出来ないと察せられます。又目下東京日日新聞で民間からの金又は金製品の提供を斡旋して居りますが、之も巨額の支拂の引當にする程のものではありません。

結局詮じ詰めると、輸出入差引の支拂超過額は毎年山から掘り出す金の價額に止めなければならぬと云ふことに歸着します。此の額は本年は二億五千萬圓位にはなりません。尤も數年後には年産五億圓即ち米國の年産額と同額になる計畫てありますが、今の所此の二億五千萬圓よりありません。

故に若し輸出入差引に於て此の額を超えて支拂はなければならぬと云ふことになる、月給取が月給額以上の支拂をすれば家計が行詰り世間の信用が無くなると同様、國の信用は薄くなり爲替は下落して非常に困難な事態となります。支那の蔣政權も諸外國も此の日本の弱點を熟知して居つて、此の事象の成行を靜觀して居るのであります。爲替相場は絶対に維持しなければならぬ

外國に支拂ふ借金が金の現送に依て支拂ふことが出来なくなつたならば、今申しました通り直に日本の爲替相場は下落します。換言すれば英國の磅なり、米國の弗に對して日本の圓の値打が落ちます。日本の圓の値打が落ちますとどう云ふことになるかと云ふと、日本の品物を外國人がより安く買へることになりますから日本の輸出貿易が殖へます。と同時に日本人は外國品を高く買はなければならぬことになるから日本の輸入貿易が減ります、之が自由貿易時代の自然現象であります。

所が前にも申述べた通り、今日は各國が人爲的に貿易を調節して居ることや日貨排斥等の關係上、品物の價が安くなつたからとて輸出は簡單に増加する譯には参りません。凡そ爲替相場の下落に依て受くる利益は輸出の増進でありまして、犬養内閣の當時金の輸出を禁止しました爲替相場は大に下落し、之が爲日本の輸出は大に促進されたことは御承知の通りであります。之が遺憾ながら今日期待出来難い、然るに爲替相場下落の害とも云ふべき物價の騰貴は甚しく起ると云ふ誠に困つた境涯に居るのであります。爲替が安くなれば外國品がそれだけ高くつくこと故買入を手控へるのが常道でありますけれども、今日

の我國は戦争して居る關係上、軍需資材や輸出品の原料となる品物は厭でも應でも輸入しなければなりません、すると圓の値打が外貨に比し例へば二割方下つたとすれば前よりも二割方高く外國品を買入れることになり、すると此の輸入品を原料として儲へる輸出向や内地向品は二割丈け高價になります。又輸入品が完製品ならば同じく二割丈け高く國民が買はなければなりません。延ひて之等が他の國內の一般商品の價格をも高める原因となります。之も國內の物資量が豊富なる場合には國內の物價水準はさして騰貴しませんから、爲替下落に因て國內の物價の國際的割高はそれ丈け是正されるのでありますが、今日我國の如く物資の非常に不足せる場合には爲替相場の下落は國內物價の一大騰貴を惹起して爲替下落に因る對外的物價調整の好作用は差引帳消となるのであります。

物價が安いからとて今日は以前の如く輸出貿易が盛になることは期待出来ないけれども、物價が高くては絶対に輸出は出来ません。故に右の様になつて來ますと物價騰貴は輸出を困難にし、輸出の困難は益々物價騰貴を促し、恰も風船玉が空中に昇る様の勢で物價は騰貴し反面に通貨は下落します。而のみならず物價の高い安いに拘らず政府は軍需品を

買上げなければならぬ故、五十億圓で輸入又は買上げる筈のものが爲替相場二割安即ち物價二割高の爲六十億圓を要します。物價が五割高くなれば百億圓を要します。之等の買入資金は政府が國債の發行に依つて調達するのでありますが、後述の通り國債の發行は國民の貯蓄力を超えて發行する譯には参りません、若し超えて發行したならば發行した丈け市場の通貨が膨脹して之が又物價を高める原因となります。かくの如く追ひつ追はれつして通貨は止め度なく下落して行きます。之が所謂悪性インフレーションであつて、遂には歐洲大戰當時の獨逸のマルク貨や露國のルーブル貨の如く一兆何億分の一といふ様な人間の頭では判らぬ位に低下し、靴一杯のお札で一片のパンも一個の卵子も買へないと云ふ様な悲惨なことになり、貧富の懸隔は甚しくなり、國民の大多數は生活出来ぬ様な悲惨極まる困亂状態に陥つて仕舞ます。政府が現在の外國爲替相場は如何なることがあつても維持せなければならぬと云はれるのは此の事であり、

#### 輸入制限の必要

そこで之が對策としては、所詮外國から買ふ品物や其の分量を減らすと云ふことになり



ますが、軍需品の輸入は絶対に減らすことは出来ませぬ。さすれば軍需品の輸入代金を稼ぐ爲輸出を減らす譯には参りませぬから輸出品の原料品の輸入も亦減らすことが出来ない以上は、其の他の一般國內向品の輸入を減少する外はないこととなります。

そこで政府は不要不急品と認めらるるものの輸入を制限することとし、不取敢、贅澤品と國産品で代用の出来る茶等の品種三百種足らずの物資の輸入を許可制とし、事實上其の輸入を禁止せられました。所が夫等の輸入金額は僅に年三千万圓足らずで國際貸借の改善と云ふことには殆ど役に立ちません、それで已むことを得ず最大の輸入品であり又輸出品である棉花、羊毛及木材に就て輸入制限を斷行することになりました。

棉花の輸入額は昭和十二年に約八億五千万圓で我國輸入總額の二割三分を占めて居りますが、之を原料とし製造したる綿絲、綿織物は亦我國輸出の大宗であつて、同年の輸出額は六億二千万圓で輸出總額の二割を占めて居ります。羊毛も亦昭和十二年の輸入額は約二億九千万圓で輸入總額の七分六厘を占めて居りまして、輸入數量約八十萬俵の内四分の一の二十萬俵は製品となつて再輸出されて居ります。之等製品の輸出は殖しこそすれ絶対に

減らすことは出来ませんから、之等輸出製品の素となる原料の輸入量は減少する譯には参りません。而も尙支拂金を減らす爲、即ち國際貸借改善の大局上棉花、羊毛の輸入を減ぜなければならぬとすれば夫等の國內消費を節約するの外はありません。例へば九千萬の同胞が一年に一着の木綿の着物丈けを節約しても、一着分に要する棉花の量を平均百五、六十匁と見て其價格五十錢、總額四千五百萬圓の節約となります。又羊毛製の洋服やモスリンの着物の新調を控へたり、シャツや靴下を買控へるか、代用品製を用ゆることにすれば二割方辛抱しても六千万圓の羊毛の節約となり、兩者併せて一億五百万圓に相當する分量丈けは何等の支障なしに棉花と羊毛の輸入を減らすことが出来る譯であります。茲に至つて國民一致の消費節約即ち儉約と云ふことが非常に大切なこととなります。國民の任意にせよ、政府の強制にせよ、此の種の消費節約が完全に出来るか否とが實に我國浮沈の岐れ目であります。

#### 第四 物資の消費節約

### 物價は騰貴した

二四

向後物の消費を極力節約しなければ我國は戦に負けず、世界に類例のない崇高尊嚴なる我帝國も衰退するの外はありませぬ。歐洲大戰の一年目には交戦國民は殆ど飢餓に瀕し、節約しやうにも節約する物資がなかつた様な悲惨な状態でありましたが、之に比べる事變後一年の今日、事變前と大した變りがなければこそ今に至りて消費節約を絶叫せなければならぬと云ふ次第であることを考へると、我國は何と有難い國でありましょうか。國民の心掛もあらう、經濟封鎖もないからでもあらうが、我國の物資の豊富なることには外國人も驚いて居る様であります。併し決して油断はなりません。そろ／＼猛烈な低氣壓は押し寄せて來ました。今にして國民が眞に覺醒して政府に協力し物資の節約を執行しなかつたならば後悔するも及ばない窮境に立ち到ることは必然であります。物の價は通貨が多くなると騰りますが、物の需要に對して其の供給が少いときも騰ります。少い品物に買手が多く付けば其の物の値段は騰る道理であります。今日の物價の騰貴は、通貨が殖へたことよりも物資の需要と供給とが不均一になつた、即ち供給が不足した

ことに原因して居るのであります。

事變以來、不急不要の日用品は輸入を差止められ、又は減らされました。洋服や木綿着物の如き必需品でも當分買はないでも辛抱出來たり、又は代用品で間に合ふものは同様の扱を受けました。又市場に在る品物の大きな部分は軍需品として徴發せられて居ります。而のみならず日用品を製造する工場は軍需工業動員法（現在は國家總動員法に變りました）で軍需品の製造に向けられて居りますから、それだけ日用品の供給は減つて居ります。之等の諸事由から國內品は著しく事變前より減量して居ります。故に品物が減つて居るのに若し需要が同じならば其の價はそれだけ高くなる理窟であります。事變後、或程度の消費の節約はされて居りますが供給の減少した程度には達しない、それに賣惜みや買占めも多少はありましようし、物品税等の税金の手傳も入つて今日の如く物價殊に國內日用品の價格が目立つて騰つて居る次第であります。

### 極力物價の騰貴を防がなければならぬ

然らば物價が騰貴したならば如何なる面倒が起るか云ふに、各關係の所で申述べてあ

二五

りますが、先づ以て

一 軍需品の調達に困難を感じます。政府が国内で之を買入れるのは國債の發行に依つて得たる資金を以てするのでありますが、國債の發行高は國民が買ひ得る程度、換言すれば國民の貯蓄力を限度としますから、物の高くなるに伴れて幾らでも國債を發行すれば宜しいと云ふ譯には参りません。

二 軍需資材等の生産事業の新設や擴張が元手騰貴の爲思ふ通りに参らなくなります。殊に困ることは

三 外國への輸出が衰退します。高い品物が賣足の遠くなるのは當然であります。輸出を盛にして賣上代金を増加して其のお金で軍需品等の必要品を外國から輸入しなければならぬのに、輸出の減退に因て外國からの手取金が減りますから、それ丈け外國から右様のなくてはならぬ品物を買ふことが出来なくなります。更に又

四 國民の生活を脅します。國民が生活に不安を感じる様になると種々の面白からぬ事

態が発生します。古往今來、國民生活が安定を缺いて戦争に勝つた例はありません。

物價の騰貴は以上の様な實に戰慄すべき險惡状態となつて参ります。之が平常ならば物資の買入又は輸入を差控へたらば宜しいのでありますけれども、命懸けの戦争して居る以上之に必要な軍需品の購入は差控へる譯には行きません。故に益々買ひますから物價は益々騰り、通貨は市場に溢れます、止め途なく物價は騰り通貨は激しく下落して惡性インフレの症狀を呈するに至れば最早最後であります。

故に今日物價の騰貴を防止することは何より重要且緊急の事柄であります。殊に物價の暴騰は以上の様な經濟的筋道の外に精神的に之に拍車をかける虞があります。即ち物價がどん／＼騰貴する徴候が見えますと、之は反面にお金の値打が下落することでありますから國民競つて「金より物へ」とあせります。物の高くならぬ中に金を物に換へ様とします。商人は賣惜み買占を致します。従て物の需要が一層殖へますから物の價は益々騰ります。金の提供も差控へて金製品等を隠します。品物の買溜も致します。愛國心で自制するとしても之丈けては此の勢を抑止することは出来ません。之から觀ても物價の騰貴する氣

配を見せる丈けても今日は嚴戒すべきことであります。

一般的消費節約でなければならぬ

元來戦争は全般的ではないが一應は好景氣を伴ふものであります。一方には却て収入が減つて困る人も出來ますが、多量に軍需品を消費します爲仕事が多くなつたり、物の價も騰つて多數の人々は其の利益を受けて其の収入が増すのであります。収入が多くなれば人間は物を多く買ひ勝てあります。故に物の値段は一層高くなります。

そこで事變の爲増加した収入は全部之を貯蓄して、新に消費を増加せざることが特に儲けた其の人達の義務でありますと共に、日常品の市場の數量の減少したる丈け其人達も其他の収入の増さない人も均しく需要を減ずる、即ち消費を節約することが必要なのであります。換言すれば國民全部が事變前よりも其の生活程度を低下させなければ此難局を切り抜けることは不可能であります。

政府の所謂選擇的消費

政府は昨年十月五日閣議を以て左の如く所謂選擇的消費の節約を國民に勸奨すべきこと

を決定せられました。

閣議 申合せ

對事變經濟政策の目標とする所は、直接間接軍の需要する所を充足し軍事行動に支障なからしむるを主眼とし、これがためには物資及び資金の需給を適合せしむると共に、實際收支の均衡を保持してその破綻を生ずることなからしめ、併せて經濟界の徒らに萎靡沈滞することを防止するの要あり。この見地より國民の消費節約に付採るべき方針大要左の如し。

一、軍需資材並に輸入品及び輸入品を原料とする國內製品の消費節約（假に選擇的消費節約と稱す）をなすこと。

今回の事變に依り軍需資材として所要せらるゝ物資は極めて多量に上り、従つて海外よりの輸入増加するの傾向にあり、之を以て軍需資材に關係ある物資に付ては輸入品は因より其の國內に於て生産せらるゝものも軍需以外一般の用途への使用は出來得る限り節約を加ふるの要あり、又軍需關係品の輸入増大の必要あるを以て之に應ずる爲

めには、其他の物品の輸入は極力之を減少するの必要あり。従つて輸入品及び之を原料として國內に於て製造加工せらるゝ物資の消費は極力之が使用の節約をなすを必要とす。殊に棉花、羊毛等の如き國內に於て消耗せらるゝと共に海外輸出品の原料となるものにおいて、輸出貿易は極力増進するの必要あるを以て其原料の供給を確保する爲め、特に國內消費に充てらるゝ部分の消費節約を勵行するの必要あり。而して右の輸入品と稱するは其品物が現實に外國より輸入せられざるも夫と同一物品又は同一用途の物品にして國內に於て生産せらるゝもの（例へば國內産の銅、鐵の如し）も同じく節約の必要あること勿論なり。何となれば斯かる物資の消費は必然同種物資の不足を惹起し、其の海外よりの輸入を増進すればなり、現に輸入を見ざるも消費増加の結果輸入を必要とするが如きもの亦同様とす。尙日滿一體の原則に鑑み滿洲産品に付ては之を國內産品と同一に考ふべきものとす。

二、時局の關係上所得の増加する方面に於ては原則として從來に比し其の生計を向上擴大することなく、因つて消費を増加せしめざることを。

今後多額の軍事費の國內撒布に伴ひ國民の一部に於ては相當收入の増加する向も多かるべく、之等の者がその増加せる所得を悉く消費してその生活程度を上昇せしむるときは一般に物資の需要増加、供給不足を招來して物價の騰貴を促進し、國家經濟、個人經濟上に至大の悪影響を及ぼすのみならず、又之を其の個人生活に於て觀るも、事變中一度生活の程度を高むるときは他日事變終了し其の所得減少する場合に於て俄にこれが程度を低下すること事實困難となるに至るべし。よつてこの際これ等増加せる所得による消費の増加はこれを自制し、因つて生ずる餘裕はこれを貯蓄すること國家的にも、個人的にも必要なり。

三、右以外一般的の消費節約はその必要無きこと。

右一、及二、の消費節約以外一般に消費の節約を行ふことは現在に於ては行過の感あり。原料が國內に産し且その製造加工も國內に於て行はるゝ物資はその供給の不足を來さざる限り特に消費を節約するの要なく、この種物資にまで消費の節約をなすときは、經濟及び産業界を萎靡沈滞せしめ、却て悪影響を齎すこととなるべし。（以上）

次て其の品名を左の如く指示せられました。

種別	品名	用途
綿	綿衣類、手拭、敷布、絹、カンパス、足袋、靴下等	
羊毛	毛織、洋服、モスリン、セル、メリヤス類、編物類、帽子、敷物類、毛布類	
鐵、鐵礦	瓦斯道具、鍋、釜、鐵コンロ、其他の炊事道具、鐵ストロブ、刃物、家具、鐵釘、鐵線、トタン板、玩具等	
白	時計、指環、鑽、入齒、裝身具等	
銅、眞鍮	家庭用器具器物、鍋、藥罐、火鉢、線、錠前、水指、水盤、家庭用金具、銅屋根、桶等	
鉛	煙草銀紙、ペイント、鉛管、玩具等	
錫	トタン、トタン製品、ペイント等	
ニッケル	各種錫器、ブリキ、ブリキ玩具、ブリキ罐、菓子包装、齒磨チユーブ、煙草銀紙等	
アンチモン	各種食器のニッケル鍍金器具、洋銀器具、ライター等	
石炭	珙瑯鐵器、置物、煙草セツト、玩具、活字、燐寸(硫化物)等	
石油	燐房、燃料等	
ゴム	自動車用、石油コンロ用、石油ストーブ用、ランプ用、家庭用シミヨキ等	
木材	靴、手袋、タイヤ、バンド、エボナイト製品、玩具、敷物等	
紙類	家屋、家具、食器類、燃料、運動具、樂器、箱、燐寸軸木等	
皮革	雜誌、新聞、箱、包装用、記帳用、廣告用等	
麻	靴、カバン、ハンドバック、トランク、バンド、手袋、家具、馬具、運動具等	
草	布、ハンカチ、ワイシャツ、洋服、漁網、組、袋等	

之等の物品に就ては政府は極力消費の節約を要望せられ、純國産品に就ては不景氣の急襲を慮つてか却て消費を奨められたのであるが、事變の進行に伴ひ其後、巨額の國費が軍需品代として國內に撒布せられてから一般に消費の増加を來し、純國産品に付ても其の價が騰貴するに至つた爲、今日は之が消費の抑制をも圖るの必要に迫られ、一面は之が手段として金錢の消費の節約即ち貯蓄の奨励を奨められるに至つたのであります。

貯蓄とは収入の一部を使はぬことであつて金錢の消費節約であるが、其の結果物を買はぬから物の消費節約ともなるのである。之を一般物資に付徹底させねばなりません。早い話が、戦争と云ふ一大消費者が出来た、而して其の消費品が新設工場や既設工場の擴張等で調達出来るならば消費の節約を絶叫する迄には及びませぬ。所が事實はそんな氣樂な状態ではない、之等では到底間に合はぬから其の不足分は軍需用として一般市場品を喰ひ込み、又は新に軍需品の輸入を増加して居るのであります。之が事實である以上は、此の不足分に相當する分量は事變前よりも一般的に物の消費を節約しなければ物の需要供給不均衡より來る物價の騰貴は免れないのであります。尤も國民が非常時の努力で平時よりも

一倍働くことに因る物資の生産増も考慮する必要がありますが、反面に勞力や運搬具（出征兵、馬、自動車、船等）の一部分が戦争に吸収されて居る今日、之は埋合せになる程度に過ぎないのであります。

故に國民は、現下巨額の事變費並軍需工業擴張費を悪性インフレの惧なく調達せんが爲の消費節約、即ち貯蓄運動は新に増加せる所得丈けを貯蓄すべし、増加せざる人も成るべく貯蓄すべしと云ふ如き生溫いことでは到底此の難局を突破出来ないことを深く覺悟すべきであると信じます。故に曰く

一 此の際國民は其の消費を新に増加せざるは勿論、其の生活程度を低下單純化し少からず諸事引締めること

二 従て新に増加したる所得を蓄積するは勿論、従前の所得の中からも少からざる部分

を貯蓄すること  
の必要を力説せざるを得ないのであります。かくて軍需品や輸入品でない、例へば砂糖の如きものでも菓子を節して北支に輸出するとか、不要不急の品の耕作や製造を差控へて他

の輸出品を作つたり、又は其の浮いた勞力を勞力不足で困つて居る必要産業に振向ける等、各方面に合理的消費節約が行はれなければならぬのであつて、此の結果は必然深刻なる不景氣が一部に起ることは大事の前に已むを得ないことであります。

#### 二 消費節約の結果不景氣となるか

此の際我國は平和産業に於ける消費をも少からず減せざる限り軍需の急に應じ得ないとすれば、此の方面に或程度の打撃を與へることは已むを得ない。現に平和産業の多くは輸入原料の不足、勞力不足、又は一部物資の使用制限、或は融資の制限等の爲操業短縮を強ひられ、中には失職、失業する向もあつて既に不景氣的影響を受けて居るのであります。又一大貯蓄運動は即ち裏面に於て一大消費節約運動であつて、景氣を抑壓する性質を多分に持つて居るのであります。之は已むを得ない苦痛であつて、國民は進んで甘受しなければならぬものであると考へます。一體今次の如き一大戦争が平常と同じ生活を營みながら爲し遂げ得られる筈のものではない。武力戦で死傷者の生ずると同様、銃後の經濟戦でも税金や勞力の加重位で濟む譯のものではないのであります。國民はもつとはつきり一般

消費節約の必要を認識することが必要で、此の點政府に於かれても一層明確に國民に向ふべき方角を意識せしむる様此上共御努力ありたいと祈るのであります。唯貯蓄の奨励を力説し、貯蓄の必要なる事由を國債の應募乃至生産資金の調達に置いて、消費の節約を生半可にしたのでは國民に切實なる貯蓄觀念を起させるにすら不充分ならざるやを憂ふるからであります。

かく申せばとて現時の消費節約運動は、濱口内閣當時の消費節約運動の如き激烈なる一般的不景氣を招來するものではありません。濱口内閣當時の消費節約運動は

一 當時物資過剰の際であつたから需要減退に因て安い物價を一層激落せしめたけれども、今日は物資が不足し、物價が騰貴しつつあるのを抑制するに過ぎない。

二 又當時は失業者が多かつたのが消費節約の爲一層失業者を多く出したけれども、今日は寧ろ勞力不足なのであります。

即ち今日の消費節約は剩つて居るものを一層剩すのではなくて、足らなくなつて行くだけ使消せぬことに過ぎないのであります。而のみならず其の當時とは違つて多數の部門は

景氣が宜しく、事變の進行するに伴れ益々惠まれ、國全體としては軍需關係にて消費の膨脹しつつある以上は恐れる程不景氣となることはあり得ないと思はれます。唯併し、前述の通り一部分には相當困却して居る向が現に生じて居る事實は之を否定することは出來ないし、今後は益々増加する傾向があるから、之等に對しては轉業させるなり、救濟金を支出するなり豫め適當なる方法を用意し置くべきであらう。かくて恐らく國民の任意の消費節約では難局を切り抜けることが出來ないのでありますから、今後政府は各種の必需品に對し強制的に消費の制限又は禁止を命ずることであらうから、其の波及する所甚大の苦痛を國民に與へることと想像されます。吳々も國民は政府の意の存する所を理解し、戦地の勞苦も察して忠實に之に協力して行かねばなりません。我等金融業者としても之等の意味に於て、平和産業等に對しては充分意を用ふるの要ありと思ふのであります。

## 第五 國民貯蓄の必要



國民貯蓄の獎勵に關し政府は本年四月十九日閣議申合を公表せられました。肝に銘ずべき事柄でありますから全文を記載することにします。

國民貯蓄獎勵に關する件 (四月十九日閣議申合)

今後發行せらるべき巨額なる國債の消化を圖り、且つ必要なる生産力擴充資金の供給を圓滑ならしむる爲には此の際資本の蓄積を圖るの要あり、又將來支出せらるべき巨額なる政府資金の國內撒布に依り生ずる臨時的國民所得が消費の増加に振向けらるるに於ては物資の不足物價の騰貴を招來し、其の經濟界に及ぼす惡影響至大にして延ては軍需並國民生活に支障を生ずる虞大なりと認めらるるを以て此の際國民をして出來得る限り貯蓄に努めしむるは最も緊要なり。依て政府は大體左記方針に依り國民の貯蓄獎勵に努むるものとす。

一、國民一般に從來行ひ來りたる程度の貯蓄の外

事變前に比し所得の増加したる者に對しては從來に比し其の生計を膨脹せしむることなく、原則として其の増加所得の全部を出來得る限り貯蓄に向はしむること、右

の外國民全般に於ても出來得る限り貯蓄を増加すること

二、貯蓄の方法は確實なるものならば如何なる方法に依らしむるも可なること

三、各種金融機關に集積する貯蓄額並國債公社債等に對する直接投資額として大體今後

一年間に増加を要する國民貯蓄の額は約八十億圓程度を目標とすること、但し政府

資金撒布其他經濟狀況等に依り適當の斟酌を加ふること

四、貯蓄の増加を要する理由並其の經濟界に及ぼす影響等に付國民全般に充分徹底す

る様説明に努め以て國民の心よりの理解に基く協力を促進すること

閣議申合の趣旨

右第四項の申合に従ひ政府は國民精神總動員聯盟と協力し、筆に口に全力を擧げて貯蓄の獎勵を宣傳鼓吹して居られることを國民として深謝せねばなりません。右閣議申合に關し政府の説示せられたる大要を轉記して互篤と服膺することとしたいのであります。

一、國民貯蓄の増加は國債消化と生産力擴充の爲絶對必要である。

今後事變の爲支出せらるべき經費としては、第七十三回帝國議會に於て四十八億餘

萬圓の臨時軍事費の協賛を経たのであるが、之に本年度一般會計の歳出三十餘億圓を加へるときは、其の合計額は八十億圓を超ゆる巨額に達するのである。而して此等の財源として大體今後一年間に發行する國債は五十餘億圓に達するものと豫想せられるのである。此の巨額の國債が圓滑に消化せられるや否やは事變下に於ける財政經濟政策の成否の分るる所である。又日滿を通ずる軍需工業其他時局關係産業の生産力擴充を圖るの急なることは言を俟たない所であつて、之が爲要する資金も亦極めて多額に上ることは想像に難くないのである。此の國債の圓滑なる消化を圖り、生産力擴充資金を供給する爲必要な資金の源泉としては殆んど全部が國民の貯蓄に依る資金の蓄積に俟たねばならぬのであるから、此の際國民貯蓄の一大増加を圖るの要緊切なるものがあるのである。

#### 一、貯蓄増加總額の目標

各種金融機關に集積する貯蓄額並國債公社債等に對する直接投資額として今後一年間に増加することを必要とする國民貯蓄の額は經濟界の狀況、政府資金の撤布額如

何等に依つて異なるけれども大體約八十億圓程度を目標とすべきである。然らば何故約八十億圓程度を目標とするかと謂ふに今後一年間の國債發行額は五十億圓を超ゆる豫想であつて之を消化する爲には五十億圓に近い資金を要し又生産力擴充資金も今後一年間に大體三十億圓以上を要する見込であるから此の兩者を合すれば八十億圓以上の資本の増加を必要とするのである。

#### 一、斯る貯蓄増加の資金が民間に在るか

事變前に於ける一年間の國民全體の金錢貯蓄並有價證券の形に於ける貯蓄の増加額即ち各種の銀行預金、信託預金、郵便貯金、民間保險及簡易保險の準備金の増加額、各種組合貯金の増加額等其他個人の金融機關を通さない直接公社債株券等に對する投資増加額の合計は三十億圓近くに上つて居るのである。此の形に於ける貯蓄額は昭和十二年は事變關係の政府資金撤布の影響もあるるので大いに増加して居るが本年は事變關係の政府資金の撤布がなくとも三十億圓以上に上ると云ふことは容易に想像出来るのである。

而して前にも説明せる如く事變に依り約五十億圓以上の政府資金の増加撒布が行はれることは大體に於てそれだけ政府の購買力を増加することであり、此の政府の支出に對して物品や勞力を供給するものはそれだけの資金を收得し、之が殆んど全部國民の所得となり貯蓄に振向け得るのであつて、金の現送の程度を大體新産金の範圍に止める今日に於て、殊に爲替管理に依つて資本の國外逃避を防止して居る現在に於ては此の資金の内、外國に流出する金額は極めて少いのである。

勿論政府資金が撒布せられて之が國民の所得に歸し貯蓄となつて還流する迄の間には若干の時間的經過を要するが、大體之に依つて新に増加する貯蓄が約五十億圓程度に上り、之に普通に増加するもの約三十億があるから八十億圓程度の貯蓄を増加することは不可能ではないのである。

#### 一、國民各自の貯蓄の程度

然らば國民各自ほどの程度に貯蓄をすれば良いかと云ふ點に付ては大體右に述べた趣旨から謂つて事變前に比して所得の増加した者は其の増加所得の全部を貯蓄して貰

ひ度いと云ふ自然の結論になつて來るのである。然し乍ら事變下に於ける國民全般の協力と謂ふ建前から謂つても此の際所得の増加せぬ人も其の生計狀況等に依つて異なる所はあるけれども、やはり相當の金銭貯蓄をして貰ふことが必要である。

#### 一、貯蓄が増加しなければ如何なる害が起るか

一年五十億圓以上の政府資金が餘分に撒布され之に伴つて國民の所得が臨時的に著しく増加するに拘らず、此の増加所得が貯蓄せられざるときは國債の不消化が起り又生産力擴充資金の供給が不能に陥ることは素より明かである。又此の増加所得が總て個人的消費の増加に振向けられるに於ては、一般物資に對する需要の激増を來すことは明かである。此の需要増加に對しては平時ならば出來得る限り其の供給の増加を圖るべきであるが、此の供給の増加を圖る爲には生産設備の擴張、原料の輸入等を必要とするけれども其の方面の生産設備の擴張、原料の輸入等は軍需資材の供給を確保し又國債收支の均衡を維持せねばならぬ今日に於ては軍需關係産業の生産力擴充と其の原料の輸入に力を注ぐ結果として反面に於て國內消費的平和産業に力を注ぐことが出

來ない事情にあるのである。従つて需要の増加は物と金との調和を破壊し物資の不足、物價の騰貴を招來し、延いては輸出力を減殺し、軍需の供給にも支障を來し又國民經濟の運行を阻害し、國民生活に壓迫を加ふるに至るのである。而して之が極端に行けば所謂惡性インフレとなるのである。即ち此の點より見るも貯蓄を奨励して此等國內に撒布せられた資金の還流を圖することは極めて緊要である。

#### 一、貯蓄奨励と選擇的消費節約

政府は事變當初所得の増加せる者の増加所得の貯蓄と同時に物資に關する選擇的消費節約を唱へたのは御承知の通りである。此の物資に關する選擇的消費節約は軍需資材及其の原料材料、輸入品及輸入品を原料とする國內製品並此等のものと同種類の純國產品に付て唱へたのであるが、此の政策は國際收支の均衡を維持する建前から又軍需の供給に遺憾なからしめる爲にも事變の繼續する限り是非とも必要であるばかりでなく、更に一層此等物資の消費節約を徹底することが必要である。而して其の結果として金が残れば貯蓄にも役立つのであるが、此の際は之とは別に又金錢の方面から

も貯蓄の増加を圖ることが必要である。貯蓄とは収入の一部を使はぬことであつて金錢の消費節約であるが、其の結果物を買ぬから物の消費節約ともなるのである。然し乍ら國民經濟的に全體的に見れば物の消費節約と云ふよりも寧ろ物の消費増加の抑制と云ふ方が適當かも知れぬ。只老婆心乍ら附け加へるが貯蓄の爲に健康を犠牲にする様なことは避けねばならぬ。

#### 一、政府側の方策

一貯蓄奨励の實行に當つては中央地方を通じ統一ある組織の下に全國に互り一大國民運動として之を行ふことに依つて初めて其の實效を期待し得るものである。依つて政府は貯蓄奨励に關する事務を擔當せしむる爲大藏省に國民貯蓄奨励局を設置し且つ貯蓄奨励に關する重要事項及具體の方策等に付諮問する爲國民貯蓄奨励委員會（假稱）を置くこととした外、舉國一致の體制を採る爲政府各部内は素より各種自治團體其の他民間各方面の協力を得て、政府民間、中央地方の密接なる連絡の下に全國に貯蓄奨励の普及徹底を圖り度いと考へて居る。即ち朝野官民凡ゆる方面の協力を求めるのであ

而して貯蓄實行の第一線の機關としては或は銀行、會社、工場等企業主體又は職場を單位とし或は官廳を單位とし或は市區町村等の地域を單位とし或は青年團、婦人會、其の他の團體を單位とする貯蓄組合を結成し俸給、給與、賞與等の支拂に當り其の一部を天引して貯金せしめ又は毎月収入の一部を貯金せしめる等貯蓄實行の斡旋を爲さしめる方法に依る計畫である。

一、貯蓄の具體的方法

而して貯蓄の具體的方法としては確實なる方法ならば如何なる方法に依つても差支へないのであつて、郵便局賣出國債の直接買入は勿論、銀行預金、金銭信託、郵便貯金、産業組合貯金、無盡掛金各種保險及郵便年金への加入、割増金附貯蓄債券の買入等各人の最も便宜とし且つ好む方法を選べば好いのである。此の結果として金融機關の預金、貯金、信託等は著しく増加することとなるのである。或は動もすれば政府が郵便貯金の奨励をすれば銀行の預金等が減少すると云ふ様な感じを起す向もあり、此

の點に付ては勿論多少技術的の調節を必要とする場合もあるかも知れぬが、兎に角各金融機關は孰れも多額の資金が流入して來ることになるのであり又流入して來なければならぬのであるから、金融機關は此の際特に其の公共的性質を發揮して國家の爲に貯蓄の集積に努力して貰ひ度いのである。而して資金が此處に集積せられれば其の資金は外國爲替管理法に依り國外への流出を防止され又國內に於ては臨時資金調整法に依つて現下の時局に於て不急不要の方面へ廻らぬ様な措置が講ぜられて居るから、金融機關等を通じて國債の消化其の他時局に必要な産業資金に使用せらるる結果となるのである。

何故國債を持たねばならぬか

政府の御説明の如くに、巨額の軍需品を調達する爲に政府は國民から買入代金を借りなければならぬ。借りる爲には政府は國債を發行する、國債は日本銀行が一手に買受けて其の代金を政府に差上げる、政府は軍需品を買入れる都度此のお金を民間に渡される、其の結果民間にはお札が増加する、お札が非常に民間に殖へると物價が騰る、故に物價の騰る

のを防ぐには此の殖へたお札を元通りに減らす必要があるのであります。之にはお札を貰つた人が日本銀行へ行つて同行が政府から買取つて持つて居る國債を買へば宜しい。日本銀行が代金としてお札を受取れば直ちに民間にそれをお札が減ることになり所謂通貨の收縮となる。従て物價の騰貴を招かずに済むのであります。或は又其の人は貰つた金を銀行等に預けても宜しい譯であります。さすれば銀行は之を以て同じく日本銀行から國債を買ふなり、又は今日どうしても資金の要る生産事業に投ずる、其の結果必要な物資が生産されることとなり、それだけ物資の供給が殖へる故此の點で物價の上るのを抑壓することが出来るのであります。或は又銀行が軍需品の生産事業に投資します結果、その生産されただけ外國よりの輸入の減少を爲し得ることにもなり國債貸借の改善に役立つのであります。此の如く銀行が生産資金を融通することは現下の狀態に於て最も重要緊切のことでありますから、政府も國民が預金することも國債を買ふことも同等に大切なことで、何れを選んでも差支ない様力説せらるゝ所以であります。

政府は又郵便局から公衆に向つて直接國債を賣出されて居ります。之を我々が買取るの

も同様の効果がありますから國民は進んで買求むべきであります。將來は十圓券も賣出されませうから一層買安くなります。併し何れから買つたにせよ、手持の國債を再び他に賣却すれば何にもなりません。物價騰貴を抑へることが出来ない許りか、國債が市場に溢れて國債の値段が下落し國債に對する不安不信が増大します。遂には幾ら利子の引上等發行條件を良くしても支那の如くに國債の買手がなくなつて仕舞ひます。千里行く道も初めは一步みであります、一人が一枚賣ることが大變恐るべき自滅の原因となります。尙序に申しますが、英國では全國債の四割以上は個人が持つて居るのであります、我國では個人持は僅に五分で、九割五分は大藏省預金部や銀行、會社等の所有であります。

### 貯蓄は國の爲

貯蓄は獨立の生活を爲す上に於て個人生活に於て常時必要缺くべからざるものなることは此處に述ぶる迄もありません。米國に於ては人物を採用する際、健康や正直等と同一の重さを以て貯蓄の習性の有無を條件として居ります、然るに我國は兎もすると之を小人の業として輕蔑する弊風があるのは耻づべきことと申さねばなりません。之は儉約と吝嗇と

を混同する結果とも考へられます。此兩者はともすると混同され勝であるが全く似て非なるもので、全然其の根本精神を異にして居ります。吝嗇即ちケチンボウは遣ふべき時に金を遣はず、出すべき時にも金を出さず、専心金を死蔵する守銭奴のこととあります。然るに儉約は全く之と反對に無駄を省き、贅澤を慎み、いざ必要と云ふ時に遣ふ爲に平生用意して金を溜めて置くことで誠に必要で尊い事柄であります。所が現下の我國は戦争に勝つ爲、國が存続して行く爲に是が非でも思ひ切つた貯蓄を實行することを國の生存上國民に要求して居るのであります。此際國民は一人残らず見榮生活を清算し、國の爲人の爲働かすには居られないと云ふ報恩感謝の生活に入り、百折不撓の勇猛心を奮起することこそ切實なる義務であります。

國民の内には所得が殖へないのに税金は増すし、物價も高くて消費節約など出来難いと嘆く人があるとしても、今日はそんな安閑としたことを云つて居られる場合ではない。又其の様な愚痴をこぼして見ても事實に於て軍需品以外の物の生産と輸入の減少、即ち物の供給が既に減少して居る以上は物價騰貴と云ふ方法をかりて、其の好むと好まざるとに拘

らず消費節約を強要されるのであります。それ位なら寧ろ自ら進んで物の供給量の減つた丈け消費を節約し買入を控へれば之に因て物價の騰貴は抑制せられ、國家經濟としては輸出貿易の振興に役立つと共に、個人經濟としては消費を節約した丈けは貯蓄の増加となり一舉兩得となるのであります。

#### 北海道の貯蓄總額の目標

そこで北海道民は政府の要望せらるる總額八十億圓に對し幾何を貯蓄すべきかに就て道廳主催の此程の貯蓄獎勵委員會では慎重協議の上、道の全國に對する諸般の計數を比較對照して之を二億圓と決定せられました。一人當り年額六十圓餘に相當します。寔に容易ならぬ大金であります。樺太の方は未だ耳に致しません之亦大奮發せらるることと想ひます。之等を実現する爲には眞に總員起立、何銀行が多く貯蓄しやうが、どの會社が多く集めやうが、凡て其の勞を多とし之を喜ぶ氣分を以て貯金の集積に一齊に奮勵邁進すべきであります。

政府は金融機關の豊富なる經驗と充實せる機構を動員するを最も有效適切と認め、金融

機關の活動を切に要望せられて居りますが、我が銀行は深く此の責務を感じ協力一致勞費を厭はず、他に卒先して行の内外に亘り貯蓄の奨励並に實行に取かかりました。當行は北海道樺太に支店網を張れる特殊銀行であります、若し當行の預金成績が不良であつたらば國家民人に對して何とする、此の強い責任感を以て全職員結束して預金報國に躍進しつゝあるのであります。

#### 貯蓄實行方策

然らば如何にして貯蓄を實行すべきであらうか。之に付ては政府は曩に「國民貯蓄奨励委員會」の答申に基き、弘く全國の各官公衙、市町村、銀行會社各種團體等に對し「國民貯蓄組合」の設立を勸奨せられた結果既に極めて多數の組合設置を見、其の實績大いに上りつゝあるは寔に欣快に堪へない次第であります。

當行に於ても當行内に之を設立せるは勿論、先般來進んで各方面に對し此の種組合の設立と貯蓄の御便宜を圖る爲に尠からぬ努力を拂つて居ります。

左に國民貯蓄奨励委員會の答申中「貯蓄實行方策」に關する部分の全文を轉記して皆様

の御參考に供し度いと存じます。右に關する取扱に付て御不審御、不明の點は、御照會があれば直ちに御答へ申上げる積りで御座います。

#### 貯蓄實行方策

##### 一、貯蓄組合の設置

(イ) 貯蓄の實行は團體の力に依り自律自戒的に且繼續的に爲すを最も效果的と認むるを以て特に貯蓄組合の設置に力を注ぐものとす

(ロ) 貯蓄組合の設置に付ては國民貯蓄奨励局に於て一般的に指導勸奨すると共に廳府縣は地方に於ける中心となり凡ゆる機會を利用し凡ゆる方法に依て指導勸奨するものとす

(ハ) 貯蓄組合の設置は大體左記の方法に依るものとす

(1) 官公署(學校等を含む)にありては各獨立官公署又は其の部局毎に組合を設置すること

右に付ては



官公署にありては必ず設置するものとし、尙公署に對しては主務省に於て其の設置を指導すること

(2) 銀行、會社、工場等にありては、各營業所又は工場毎に組合を設置すること  
右に付ては

(a) 主として廳府縣指導の下に設置すること但し特殊の方面に對しては之と特別の關係ある官廳に於ても設置を指導すること

(b) 時局の影響を受け所得の増加したる方面は素より其の他の方面にありても設置するものとし特に一營業所又は一工場の従業員二十名以上を有する向にありては必ず設置する方針に依ること

(3) 商工業者等の團體、青年團、婦人會等にありては各團體毎に成るべく組合を設置すること  
右に付ては

(a) 主として廳府縣（又は市區町村長）指導の下に設置すること

(b) 納稅組合等の既設機關を利用するも差支なきこと

(c) 組合の責任者を明にすること

(4) 市區町村にありては町内會、部落等の地域別に成るべく組合を設置すること  
右に付ては

(a) 主として市區町村長指導の下に設置すること

(b) 納稅組合等の既設機關を利用するも差支なきこと

(c) 組合の責任者を明にすること

(d) 他の組合員たる者は本號の組合に加入せざるも差支なきこと

(ニ) 貯蓄組合の設置を促進する爲各省に於ては其の管下各廳及關係團體會社等に對し組合設置を指導勸奨し、國民精神總動員中央聯盟及地方實行委員會に於ては相互に及官廳側と密接なる連絡を保ち組合設置に付斡旋するの外中央聯盟加盟團體其の他の團體は夫々自己の分野に屬する銀行、會社、工場、各種團體等の組合設置に付特に盡力するものとす

(ホ) 貯蓄組合結成の参考に資する爲國民貯蓄規約例を作成配付するものとす

## 二、金融機關等の積極的活動

國民貯蓄の増加を圖る爲には金融機關等の豊富なる經驗、充實せる機構を動員するを最も有效適切なりと認めらるるを以て特に此の際此の種機關の積極的活動を促すものとす

- (イ) 普通銀行、貯蓄銀行、信託會社、無盡會社、信用組合、商業組合、工業組合等をして積極的に預金、貯金、金銭信託の吸收又は無盡の勸奨に努めしむるものとす
- (ロ) 生命保險會社をして積極的に保險加入の勸誘を爲さしむるものとす
- (ハ) 郵便貯金の吸收、簡易生命保險及郵便年金の加入勸誘を積極的に進行ふものとす
- (ニ) 國債證券、貯蓄債券等の購入を積極的に勸奨するものとす

## 第六 物價對策

### 物資需給の不均衡

現下の物價對策は非常に複雑多岐であります。平時の物價觀念を以て之を率する譯に行

かないことは申す迄もありません。平時は好景氣、不景氣が自然的に循環して行くので、國民生活安定を主なる目標として之が對策を講究すれば濟むが、戰時の今日は全く統制的又は計畫的に、人爲的に物價對策を講ずるの必要があります。平時ならば好景氣、不景氣は大體世界を通じての現象でありますから、原則として一國丈けが特に物價が高かつたり低かつたりすることはありません。然るに我國現下の經濟現象は我國に限つて特殊のものであります。

事變に要する軍需の爲に物資が非常に澤山消費せられるので、國內の既存の生産設備を擴張しても軍の急需には應じ切れないのであります。然るに支拂資力に限りがあるから爲替相場を維持する爲外國からの物資の輸入は著しく制限せられる。之等の爲物資の需要は従前より著しく増したるに拘らず反對に物資の供給は従前よりも甚しく減少したのであるから、物價は放つて置けば暴騰せざるを得ないのであります。物價が暴騰すれば元々外國は物資が豊富で値段が安いのであるから益々彼我の物價の差が大きくなり、輸出量の増大は勿論のこと其の維持すらも困難となつて結局經濟界の破綻を導くの外ないこととなりま

す。故に如何なる苦痛や困難を忍んでも、人爲的に物資の需要供給を適合させることに依り物價水準を維持し、併せて爲替相場の下落を防がなければならぬこととなるのであります。軍需資材を確保し國民生活の安定を期する方法として、政府は此の物資需給の調節と爲替相場の維持とを二大目標として苦心を拂つて居られるのであります。

#### 物價對策の目標

事變物價の對策として政府は大體左の三大目標に向つて善處されることと思はれます。

- 一 輸出貿易を維持又は増大する爲輸出品の價格を低廉ならしむること。
  - 二 國債の増大を防ぐ爲軍需品の價格を低廉ならしむること。
  - 三 國民生活を安定する爲之に必要缺くべからざる物資（衣食品の外に電燈、瓦斯、水道、家賃等、本道ならば石炭の如きも含ませう）の價格を低廉ならしむること。
- 之を別の言葉で申せば前述の通り、物資の需要供給の適合と爲替相場の維持と云ふことになりましょう。是等の政策は實に複雑至極で詳細なる説明を必要としますが、經濟

政策の理論や政府の施設を一々記述することが目的ではありませんから此の程度で止めます。

只茲に一言して置く必要があるのは、政府は從來此の爲替相場堅持の對策的手段としては、手許の爲替資金の範圍内に輸入爲替を制限すると云ふことに専ら依られた様であります。此の方法は手許に支拂に充つべき金其他の正貨が澤山に存在する場合は有效なる手段でありますけれども、之が足りない、従て輸出を増加して輸入品の支拂代金を稼がなければならぬ我國の現状では、何時迄も此の手段に依存して行くことは出来ないと思ひます。何となれば、輸入を制限するから原料等の物資の供給が不足する、不足するから物價が暴騰する、物價が暴騰するから輸出が減る。こうなると又輸出の減つた丈は輸入を減らすこととなる、之は輸入品決済の正貨が足らぬから已むを得ない。すると此の結果は再び物價を騰貴せしめ、輸出は愈々減少し前よりも層一層輸入を制限することとなり、遂に輸出が出来なくなつて財政が破綻する迄繰り返して進行するのであります。昨今我輸出の著しく減退したのは多分に此の悪影響を受けて居るものと見るべきであります。

然るに今日迄は大なる苦痛を商人も國民も感じなかつたのは、輸入代金の決済に充つべき正貨が多かつたから政府は餘り手厳しく輸入を抑制しなかつたこと、昨年上期迄に見越輸入せられた原料品のストックが非常に多かつたこと、輸出向の商品が多量に國內向の消費に供せられた等の諸原因に依るものであります。所が現在は正貨も頗る手薄になり、在庫の滞貨も使用し盡した、其處へ持つて來て輸出が著減するに至つたから政府は輸入統制を愈々強化するに至つた、輸出向の品を國內に轉賣することも嚴禁するに至つた。之が昨今著しく時局の重壓を感ずるに至つた事由と思ひます。

そこで今後は政府はその物價政策の手段を全く變更せられることと思ひます。輸出の維持又は増進を目標として物價政策を講ぜられることは變らぬけれども、從來は只物價の騰貴を其の生産費を用途として統制し、之を著しく超へるものを暴利取締令等に依つて取締まられた様であります。物價抑制の一定水準と云ふものはなかつた様であります。所が今日の如く輸出が困難となり正貨も少なくなり、而して輸出貿易の維持に依り爲替相場堅持を必要とする以上は國內の物價騰貴を輸出が出来る範圍内に人爲的に喰止めることが絶対

必要であります。今迄の様に生産費や需給關係を基準として謂はば下から物價を定めるのではなくして、之と反對に爲替相場堅持を目標として上から物價を決めることが必要と思ひます、而してかく決めた物價が實現する様に生産費を工面し、需給關係を調整して行くことを餘儀なくされます。換言すれば、國際的物價水準迄我物價を押し下げることが緊要であります。故に若し生産費が高くかかり過ぎて其物品の價が國際物價より高ければ統制の力に依つて彼我同等迄壓し下げる外ありません。之が爲製造者が迷惑しても止むを得ません、或は進んで之等の場合は事と品に依り政府が補助又は補償せられる迄行くかも知れません。大體此の様に物價政策を變更せられる急場に迫つて來たと思ひます。それだけ國民は受くる打撃の甚大なることを豫め覺悟し之を忍受する用意がなければなりません。

附言が長くなりましたが政府は上述の三目的を達する爲、前出の通り臨時資金調整法及輸出入品等臨時措置法の運用其他消費の節約、生産事業の新設、擴張等の諸方策を講ぜられて、物資の需給の適合と國際收支の改善を圖り、物價の急激なる騰貴を防止することに努力して來られたのであります。只從來は政府部内に之等の諸政策を綜合統制する機關が

缺けて居りました爲事務の不統一、遲滞等に付き遺憾の點がありましたものと見えて、今春新に物資調整局を設けられ大藏、商工兩省を打つて一九とし物資需給調整に關する具體的計畫を樹立すると共に、進んで中央と地方にそれ〴〵物價調整に關する官民合同の委員會を設けられる等物資需給の對策に大重であられます。眞に御苦勞千萬の事と拜察します。

物資の需給が均衡がとれ、爲替相場が維持せられるならば何年でも戦争するに差支ありません。併し之は容易なことではありません。政府も國民も眞に一體となつて心から非常時を意識し、而も泰然自若としてあらゆる艱苦缺乏に耐へ克の熱意と氣力がなければなりません。茲には外國の事例を引く迄もないが、事の進行上恐らく政府は外國の先例をも參酌して今迄よりは十歩も百歩も進んで物資の配給の統制や制限を致しませう、原料品としての使用や衣食住的消費を制限又は禁止しませう、ガソリンに對する様な切符制度も殖へませう、價格を公定して物價を力て引下げませう、積極的に一層生産の増加や生産費の低下や又代用品の使用を強制することにもなりません。貯蓄の勵行に伴つて一般國民の

消費も激減しませう。

之等の結果は製造者も商人も一般消費者も因となり果となつて多大の苦痛を嘗めなければなりません。各般の摩擦や衝突も亦激化することでありませう。之からが愈々我々大和民族の義勇奉公の精神が歐米人に比して優るとも劣らない實驗にぶつ突かるのであります。初めに試練の時に差しかつたと云つたのは此の事でありませう。戦地では既に實驗済であります。我皇軍將兵の忠魂義烈、洵に鬼神を泣かしむる壯烈なる奮闘は新聞にラデオに毎日涙なくしては之を讀み、之を聴くことが出来ないものであります。かくして著々立派なる戦果を擧げて居られますが、銃後の國民の用意や果して如何？

私は諸君と共に我國民の誠忠と底力とに信頼します。かの歐洲大戰に於て、平素から食料品すら自給自足出来なかつた獨逸國が、開戦と同時に聯合國の嚴重なる經濟封鎖を受け、戦前三杯半の食事をした者が一杯しか得られないと云ふ饑餓の境地に墮しながらも、あらゆる慘憺たる困苦缺乏に耐へ四年四ヶ月の永きに亘り腹背の頑敵に對し惡戰苦闘した其の尊い精神にも劣らぬ義勇心を我國民は持つて居ると信じます。唯遺憾なのは、昨今市

場には政府の公定價格を無視したり、或は政府の制限又は禁止を潜る様な行爲が頻々として現はれて居ります。遂には暴利取締令の發動や經濟警察の新設迄叫ばれて居りますのは實に残念のこととあります。此の如きは一面に於て政府の權力に基く取締丈けては其の政策勵行が充分有效には參らぬ一例でありまして、政府も之を憂へられればこそ國民各自の自覺自制を繰り返し要望せらるる所以であります。右の如き不都合なる所爲は格別の惡意もなく、多くは背に腹はかへられぬ境地に立到つて敢犯するものでありませうが、要は時局の重大性の徹底的認識に缺くる所がある結果かと思はれます。されば政府も今一步進んで非常時たる所以を差支なき限りもつと卒直に具體的に國民に指示せられ、國民の時局に對する理解を一層深めらるることが眞に望ましい様に考へられます。

## 第七 結 言

我大日本帝國が世界最強の大國となるか、衰退して一小弱國となるか、今年こそ其の分水嶺であります。光輝ある我が神國は今正に東洋永遠の平和を虎兒を獲んが爲、日支事

變なる虎穴に這入つて居るのであります。無事に虎兒を獲るか、それとも親虎に噛み殺さるるか、其の何れに歸するやは一に我々國民の覺悟の如何に懸つて居るのであります。國民が能く時局を透視し一大勇猛心を以て舉國一致其の消費を節約し、貯蓄を勵行するか否かに依て決するのであります。

今次の事變は天が我々に大和魂を發揮する千載一遇の好機を與へたのであります。列強の威壓妨害の裡に暴戻なる支那軍閥鷹の聖戰を展開しつつあることは眞に壯絶快絶の極みであります。出でては將兵として勇猛果敢に死闘し、内に在つては各自其の職務を通じて大事に貢献し得る時機に際會したることを感謝感激せずには居られません。熊澤蕃山先生の「憂き事の尙此上に積もれかし限りある身の力試めさん」と云ふ意氣を以て、萬民均しく平靜に而も勇敢に萬難を排して邁進し、己れの誠と力とを試練し鍛鍊すべき秋であります。

前途には光明輝く、屈託する勿れ、斷じて悲觀する勿れ、明朗潤達なる氣宇を以て國民皆働け、より多く働け、努めて生産を増せ、代用品工業を興せ、生活を簡易化して其様式

を改善せよ、無駄を省き廢物（此の價額三億圓に達す）を利用せよ、進んで消費を節せよ、かくして得たる利得、節したる餘剰を貯蓄せよ。之が今日統後の臣民として上君恩に報じ奉り、下父祖の恩に酬ひ、出征將兵の勞苦に感謝する所以の大道であります。

終りに附言すべきは時局の收結の對策であります。過ぐる臨時議會に賜はつた勅語の「中華民國トノ提携協力ニ依リ東亞ノ安定ヲ確保シ以テ共榮ノ實ヲ舉グル」の大策を如何に樹立實行するか、又事變終結後に於て複雑極りなき物心兩面の善後對策を如何様に按配處理するかは實に重大なる問題であります。政府は勿論國民各自も成行に放任することなく、夫々其の分に應じ今より潜思練案すること肝要であらうと思ひます。

（以下は非常に淡く、ほとんど不可読な文字が並ぶ）

昭和十三年八月十二日印刷  
昭和十三年八月十八日發行  
（非賣品）

編輯兼 齋藤富一郎  
發行兼 齋藤富一郎  
札幌市大通り四三丁目  
北海道拓殖銀行内  
印刷人 代表社員 山中次郎  
札幌市北一條四三丁目二番地  
印刷所 合名會社文榮堂印刷所  
電話 一六〇・八五一番

終

